

防災・減災部門

避難所への災害用ハマッコトイレの整備完了&点検および 地元連携を拡充し、災害対応力をスパイラルアップ!!

横浜市 下水道河川局

受賞事例の概要

【整備】大規模地震により、住民が地域防災拠点（市内の約460箇所の小中学校など）に避難した際に使用する災害時下水直結式仮設トイレ（通称、災害用ハマッコトイレ）が令和5年度に概成100%になりました。

【点検】整備後は、横浜市管工事協同組合による点検を毎年（1拠点につき5年に1回）行っており、いつ発生するか分からない地震に対してのハード面の備えを行っております。

【普及啓発】①発災時に地域防災拠点の開設及び運営を担う地域住民を対象に、使用方法の説明及び組立訓練を実施しています。②ぼうさいこくたいや横浜消防出初式などのイベントでの模型を用いた普及啓発や、小中学校への出前授業を行っております。



出前授業（中学校）



防災イベント



点検の様子

PRポイント!

【全世代型の普及啓発】

- ・中学生にハマッコトイレを学んでもらう時間を設けて、後日、生徒が講師の立場で、保護者等に説明する機会を設けました。
- ・防災イベントでは、未就学児にも関心を持ってもらうため、模型を用いた説明を行いました。

【官民連携による点検と普及啓発】

- ・官民連携による設備や備品の点検及び市民に対するトイレの組立指導を行っています。

取組の効果!

【全世代型の普及啓発】

- ・地域での防災訓練の際に中学生が率先してハマッコトイレの組立を行っていました。また、未就学児が関心を持つことで、親子一緒になってハマッコトイレについて学んでもらえ、市民全体の災害対応能力の向上に効果がありました。

【官民連携による点検と普及啓発】

- ・災害時に点検作業を行う人が、防災訓練の指導も行うことで、発災時の連携強化に繋がりました。

Key Person



管路保全課
新田 和宏、小泉 祐二

普及啓発のひとつとして行った小中学校への出前授業では、生徒が自発的に防災について意見交換しており、防災意識の高さを認識することができました。防災に真剣に取り組む若者への成長の一助になったと実感しています。今後も、地震等の災害時に迅速なトイレ機能を確保できるよう、市民と行政が連携し、様々な方法で普及啓発を続けていきます。本市取組が評価され受賞したことに感謝申し上げます。